

# 令和3年度 第3回 高砂市総合政策審議会 第1部会

## 議事録

開催日時	令和4年1月27日(木)10:00~11:30					
開催場所	高砂市文化保健センター多目的室1					
部会長	山口 隆英 部会長					
委員 (名簿順) 出席 11人	出席	松本 克英委員	出席	見上 恵美子委員	欠席	和田 泰樹委員
	出席	濱中 美佐子委員	出席	春下 充代委員	欠席	藤本 翼委員
	欠席	東野 アドリアナ委員	出席	山口 隆英委員	出席	大西 正起委員
	出席	福島 孝一委員	出席	松下 尚平委員	代理出席	竹田 潔委員
	出席	坂本 竜之介委員	出席	小川 佳宏委員		
議事	<p>協議事項</p> <p>(1) 第2部会での評価・意見について</p> <p>(2) 第5次高砂市総合計画実施計画令和3年度評価について</p> <p>(3) その他</p>					
資料	<p>事前配付資料</p> <p>次第</p> <p>第5次高砂市総合計画実施計画(行政経営プラン)令和3年度中間評価</p>					

### 議事の経過

#### 開会

- <本日の資料の確認>
- <本日の進行について説明>
- <会議の成立>

#### 部会長 挨拶

本日はオミクロン株の厳しい状況の中での開催で、出来るだけ手短かに議論をして必要なことを別の方法で解消するなどして会議時間を短縮したいのでよろしくお願いします。

#### 協議事項 1 第2部会での評価・意見について

##### (事務局)

前回11月11日に開催した第2部会での審議内容について説明。

##### (会長)

意見をお受けいたします。

なければ後日メールでも意見いただければ事務局から回答をさせていただきます。

## 協議事項 2 第5次高砂市総合計画実施計画令和3年度評価について

(会長)

事務局の方から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料に基づき説明。

(会長)

前回審議ができていない項目について順にご意見をお伺いします。

### 2-1住民が望む、暮らしに良好な住環境のまち【まちづくり政策】

(部会長)

中間評価で書かれている環境保全協定とはどのようなものですか。

(生活環境部長)

市内の工場を対象に、特に環境に影響する振動や騒音等の数値の報告を求める等を協定という形で締結しており、履行状況の点検を行っています。(生活環境部長)

(部会長)

自転車ネットワーク整備工事は、どのような整備を考えていますか。

(都市創造部長)

自転車活用推進計画の中で自転車整備計画があり、市内では荒井地区を中心に、工場への自転車での通勤、または通学が多い箇所を重点的に車道に誘導できるように整備を行っています。具体的には、神鋼前踏切の手前に矢羽根表示や自転車通行帯ということで水色の帯で表示するなど整備を行っています。来年度は庁舎周辺の道路に水色の帯状に整備をしていく予定です。

(委員)

自転車の飛び出しが多く危ないので、自転車通行者が分かるように「止まれ」の表示をお願いしたい。

(委員)

自転車の事故が多いと聞いています。今の標識や交通マナーも大事だが、広い部分は整備できますが、基本的には道路が狭く、整備できるかというハード整備の考え方はいかがですか。

(都市創造部長)

自転車のルールについては、自転車は車両の一部で車と同じ規制となるため自転車教室で啓発していきます。標識については、通学路の安全点検ということで教育委員会とともにやっており、警察、保護者と危険なところを確認しながら対策を講じていきます。

高砂市は自転車事故県内ワースト5が長期間継続しています。平坦な地形で自転車に乗る人が多いということもあり、事故を抑制することが課題です。

道が狭いことについては、狭あい道路の拡幅は令和4年度は5件で、家を建てるときに幅4mの道路と接道していなければなりません、セットバックして家を建てることで、道幅を広く

することができます。市では、狭あい道路整備要綱に基づき、個人が退いた部分は市が道路として整備拡幅していくこととしています。時間がかかることですが、このような方法でハード面で対策をしていきたいと考えています。

## 2-4環境に優しい暮らしがあるまち【環境政策】

(部会長)

ゼロカーボンシティ宣言をしているのに、一人当たりのごみ排出量が増えている理由はどのように考えていますか。

(生活環境部長)

2市2町のデータについても家庭ごみが増えており、コロナのステイホームが影響していると考えています。

(委員)

主な事業でペットボトルのリサイクル事業として2市 2 町で取り組みをされたのは4月からです。12月には小売業にも参画していただき加速しているところです。ペットボトルの再生率は5割近くまで上がっているのです、知らせていただければと思います。

(生活環境部長)

県民局主導でペットボトルから 100%再生するというので取り組んでいただいています。他市からの注目度も高い状況です。

(委員)

ペットボトルのフタはどうなっていますか。数年前までは農協が引き取ってくれていたが今は停止されています。

森林整備事業はどのようなことをしていますか。高御位山で森林火災が起きたときは県が植林事業を実施した。市は何をしたんですか。

脱炭素というのは、市のレベルではどのように考えていますか。

(生活環境部長)

フタについては、他のプラスチックと同様の処理となっており、燃やすごみとして回収しているのが現状です。

森林整備事業は、市の役割として危険木の処理としており、植林ということではありません。

ゼロカーボンとは 2050 年に全くのゼロということではなく、相殺してゼロに近づけるということで、2050 年までに行政、市民、事業者それぞれがどのようなことに取り組むのかということを実行計画の中で検討していきます。今から具体的な内容を決めていきますが、CO2 の排出量のうち 8 割が産業部門であることが課題です。民生、家庭部門も頑張らないといけません、産業部門の課題解決のための取組について共に取り組んでいきたいです。

(委員)

CO2 を吸収するために、緑化の面積を増やすなどの考えはありますか。

(生活環境部長)

市内の緑地は、都市創造部で策定しているみどりの基本計画で緑地面積を設定し、ご家庭や工場の方でもみどりを維持していくこととしています。工場では壁面緑地、駐車場もアスファルトではなく芝生を植えたり工夫をしていただいています。

(委員)

緑地も増やしていくということの方向性で確認しました。

(部会長)

守りと攻めの両方が必要であるので、CO2 削減ばかりに目を向けるのではなく、主体的に動ける部分もあると考えます。CO2 を吸収する緑化政策は、市民運動としてもできることはあるかもしれません。コンポストをされて市民に堆肥を配り、まちに花を増やすという運動をしているようなケースもあります。緑化の高砂モデルを考えていただければいいのではないのでしょうか。削減の手段は限られているので、市でも新しいアイデアを考慮してもらえればと考えます。

(生活環境部長)

家庭緑化はグリーンカーテンコンテストの表彰を行ったり、美化センターにおいては段ボールコンポストの配布や生ごみ処理機の補助をしたりしています。市でできることは支援したいと考えています。

(都市創造部長)

緑をつくる・緑を守る・緑を育むの考えのもと、アクションプランに基づき取り組んでいます。行政で取り組むこと、地域で取り組んでいただいていることもありますので、できるだけみんなで取り組めるサイクルを作っていきます。

## 2-5犯罪・事故・災害から市民を守るまち【防犯・消防・防災政策】

(部会長)

刑法犯認知件数の増加というのは、何が理由であると考えていますか。

(総務部長)

令和2年度の増加は分析ができていない状態です。

(事務局)

補足ですが、高砂市の傾向として自転車盗難と器物損壊が多い状況で、姫路市、加古川市も自転車盗難が多いです。山間部になると器物損壊と空き巣が多くなる傾向です。

(委員)

水道管の耐震化率の方向を教えてください。

防犯カメラの設置についても、防犯カメラが必要なまちなのは情けないと感じます。この費用を別のことに使えるのにと将来的ではないなと感じています。

(上下水道部長)

上下水道審議会でもご審議いただいておりますが、水道管耐震化率が令和2年度末で 7.7% であり、収入を増やした中で耐震化率 15%に向けて進めていきたいと報告をしています。

(総務部長)

防犯に関しては、登下校の見守り、保護者、補導委員の皆様方の日々の見守り活動がベースで支えの部分となっています。そこに、機械の目をプラスして犯罪抑止と犯罪が起きてもすぐに検挙ができるように考えています。また、カメラに検知機能を付けて小学生等に見守りタグを持ってもらい、居場所を確認できる機能を付加する予定で、認知症で徘徊をしてしまう方にもタグを持っていただくことで探しやすくなるというねらいもあります。

(委員)

見守りカメラの設置場所は通学路や大きな道路がメインになってくるのですか。

(総務部長)

各地区で設置場所の検討会を開く予定です。犯罪がよく起きている場所や危険な場所をもとに設置場所案を提供し、地域の方と決めていきたいと考えています。(総務部長)

(部会長)

犯罪率の分析はやっていただきたい。京都で事例がありますが、外灯の明るさと犯罪率を京都府警と調査し、外灯が明るければ犯罪率が低くなるということが結果として出ています。カメラで対応する部分とそれ以外でも対応できるようなことがないか検討をお願いします。また、別のサービスの見守りということは、本来の防犯の趣旨で検討していくことと市民サービスとして検討する部分とを分けて検討していただきたい。

水道耐震化率は、鉛製配水管が使われているところもあり、まとめて整備するとまとめて古くなってしまふこともあり、時間の経過とともにどんどん古くなってしまいます。水道、下水道のメンテナンスは補修改修地域の企業と連携してうまく回せる仕組みを構築できればいいが難しい所でもあります。

#### 4-4 人口減少に対応する公正な行財政運営をするまち【行財政運営政策】

(部会長)

メリハリを利かせた行財政運営ということで、予算を回した方が良いのではないかとこの部分も含めてご意見を伺います。

市は、市役所を建替えたことによる効果を説明しないといけません。水道の値上げの話をする、市役所庁舎の建替えをしなければ良かったのではないかとこの声も聞こえてくるので、どのように効果として説明されますか。

(事務局)

旧庁舎は建設から63年以上経っており、老朽化も著しく、耐震性がないため、防災拠点としての役目を果たせないことが課題でした。

新庁舎建設後は分散化が解消したことで市民のみなさんが手続きごとに必要なブロックを分けて配置し、1~2階の低層階で用件が済むよう市民サービスの向上を図りました。同一の部署がワンフロアで連携することもできています。

(部会長)

市役所建て替えに伴い集約したものや、売却可能な市有土地が出てきたことなどはありますか。

(事務局)

本日の会議の会場となっている文化保健センターについて、本庁舎に移転しました。今までは本庁舎と保健センターで場所が分かれていたものが、新たな活用ができる場所として出てきています。

(部会長)

新庁舎となって好評な部分もありますが、土地交換等の資金面でも説明できるようにしておいてほしいです。

(委員)

市の税収額、市の借金を教えてください。財政調整基金は貯金のことであると思いますが、

どれくらいあるんですか。歳出を人口減少対策に使ってほしくて、住みやすい高砂市になってほしいと思っています。予算的にも前年度踏襲で組んで増減だけで済ますのではなく、若い人が住みやすいものをしていかないとギリ貧ではないかと思えます。高砂市の地理的には条件が良いので、他の地域の真似をするではないが、人口が増えるように5か年計画とかでやっていただきたいです。

(財務部長)

市税収入における歳入の割合は半分程度で、令和2年度決算で160億円です。借金の残高は、令和2年度は約410億円で、庁舎建設、治水対策、広域ごみ処理建設等により最終的には約500億円になる見込みです。一方で財政調整基金は200億程度でその適正率は10%が最低ライン(高砂市では20億円)とされておりますが、令和2年度は35億円であり、キャッシュとしてはある状態です。借金の償還が高止まりをする想定でかなりの年数をかけて償還していくこととなります。歳出の節減、歳入の確保を行い執行していきます。

令和2年度の市債発行は50億円で投資的な事業、道路や橋りょうにのみ借金ができるというものであり、市債の発行は一定増加している状況です。

(部会長)

特長ある何かをやっていかないといけないのではないのでしょうか。収入だけでは成り立たない部分は借金をすることは仕方がないです。経済的な指標を確認しながら、借金の指標を確認するという必要も必要です。個人的な意見ですが、メリハリをつけて支出し、借金して投資をするということも必要と考えます。(部会長)

### 協議事項 3 その他

(生活環境部長)

第2次環境基本計画の改訂版(案)の概要版について配布しています。昨日をもってパブコメは終了していますが、ご意見がありましたら1月31日までにメールでお寄せいただきますようお願いいたします。

(会長)

本日の議題はこれで終了となります。どうもありがとうございました。

(事務局)

これをもちまして、会議を終了いたします。

以上